



2024年11月21日

各位

会社名 株式会社Will Smart  
代表者名 代表取締役社長 石井 康弘  
(コード: 175A、東証グロース市場)  
問合せ先 取締役副社長執行役員 布目 章次  
コーポレート本部長  
(TEL. 03-3527-2100)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年11月21日開催の取締役会において、以下の通り、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年6月25日に公表いたしました2024年12月期(2024年4月1日～2024年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正(2024年4月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益 (△)	経常利益 (△)	当期純利益 (△)	1株当たり 当期純利益 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	700	△90	△91	△93	△63.85
今回修正予想(B)	520	△215	△210	△213	△147.11
増減額(B-A)	△180	△125	△119	△120	△83.26
増減率(%)	△25.7	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2024年3月期)	1,085	36	35	27	21.78
(参考)前期第3四半期実績 (2024年3月期第3四半期)	662	△126	△127	△128	△103.09

(注) 決算期変更に伴い通期業績が2024年4月1日から2024年12月31日までの9か月の数値となるため、参考として前期第3四半期実績を記載しております。

#### 2. 修正の理由

当社の売上高は、顧客提案を行いながらシステムの受託開発を行うショット売上高と、受託開発した保守・運用又は当社システムの使用料・ライセンス料のようなストック売上高で構成されております。ストック売上高につきましては、期初計画を190百万円で見込んでおりましたが、192百万円の見通しとなり概ね期初計画通りに進捗しております。一方、ショット売上高につきましては、期初計画を500百万円で見込んでおりましたが、328百万円の見通しとなり、減少となる見込みであります。

ショット売上の減少要因は、一部の大型案件で見込んでいた売上高に対し、顧客の事業計画変更に伴う投資時期や規模の見直しの決定が、第2四半期決算公表後に判明したことから、通期売上高の減少が確定的となり、業績予想数値を下回る見通しとなりました。また、影響度は小規模ながら、インポートセグメントからの撤退を想定よりも早期に実施したことにより、期初に見込んでいた10百万円の売上高が無くなっております。これらの売上高減少に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益の予想数値につきましても、下方修正することとなりました。

なお、業績予想の修正に関する詳細は11月21日公表の「2024年12月期 第2四半期 決算説明資料」内において、追加説明を記載しておりますので、ご参照ください。

現在、調達資金の使途でも公表しているように、営業体制及び開発体制の強化を目的とした積極的な人材投資に着手しております。また、顧客数の拡大を進めるとともに今後予想されるシステム開発の繁忙期に備え、早期納品や早期受注を目指し収益向上に努め、株主価値の最大化に向けて全力を尽くしてまいります。

なお、2024年6月26日公表の「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」内で記載しておりました12か月想定業績に関しては未定といたします。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上